



# あの街から学ぶ しおじりの明日

## 平成28年度常任委員会等視察報告

平成28年度は、総務生活・福祉教育・産業建設・新体育館に関する特別委員会の4つの委員会が、次のとおり各地の先進事例の視察を行いました。  
※詳細は順次ホームページに掲載します。

### 総務生活委員会

平成28年10月17日～19日

#### 職員提案制度について

(兵庫県赤穂市)

事務の効率化、市民サービスの向上につながるアイデア等を職員が提案し、庁内の提案審査委員会での審査を経て業務に取り入れている。

課題の解決を職場で話し合うよい機会となっているとのこと。

ファシリティマネジメントについて (岡山県倉敷市)

公共施設等の老朽化による事故防止も含めてファシリティマネジメントに取り組んでいる。職員自らが施設の細部まで点検し、データを庁内で一元化した上で長期修繕計画を作成している。また、維持管理業務を一元化するなど経費



倉敷市



高松市

の削減も図っているとのこと。  
定住促進ビジョンについて (岡山県笠岡市)

人口減少に歯止めをかけるため、定住促進ビジョンを策定し、住宅新築助成金交付事業、空家有効利用対策、不動産情報提供、U・イターン就職情報などの定住促進情報集約提供事業、新婚世帯家賃助成事業等に取り組んでいるとのこと。

地域コミュニティ継続計画について (香川県高松市)

大規模災害時に、地域住民の安否確認、避難所の運営、市との情報伝達などに対応できるよう、市内の全地域で地域コミュニティ継続計画の策定を進めている。計画に基づき訓練を実施することで、災害時にもスムーズに活動できるように進めているとのこと。

### 福祉教育委員会

平成28年10月24日～26日

#### 福祉ひろば事業

(長野県松本市)

松本市は、地域社会の健康、福祉、生きがいづくり増進を図るための「共助のひろば」づくりを行っている。

高齢者を中心に共に支え合う地域づくりの実現に向けた事業である。

農業と福祉の連携による6次産業化事業 (北海道留萌市)

留萌市は日本海に面し、かつてはニシン漁で栄えたまちである。近年では、農業による再興を図るため、障がい者の労働力を取り入れ、小ロット多品目の農産物加工を行っている。丁寧で熱心な仕事による製品は、学校給食や高級料亭に受け入れられている。



6次産業について学ぶ

留萌市の目指す農業と福祉の連携による6次産業化が着実に進んでいると感じた。



アイヌ文化について説明をうける

#### 市立図書館連携事業

(北海道滝川市)

老朽化した市立図書館の移転先を、市の庁舎内にした。民間の空きビルに移転するより、人口減により職員数が手薄となったため負担を軽減する狙いもあって、2階のフロアに移転した。このことにより、図書館にも立ち寄りやすくなり、壁を告知版にするなど、市からの告知ツールが増えたとのこと。

#### アイヌ民族博物館

(北海道白老町)

アイヌ民族の歴史や伝統文化現在の生活等について館長から説明をいただき、人間と自然との共存や民族文化の承継、また人権思想に関し、深い示唆をいただく機会となった。